

或問

編集後記

2026年も半分が過ぎました。『或問』第49号をお届けします。本号には論考12編、翻訳2編が収められています。いつも最新の研究成果を小誌に寄せ、学界に提供してくださる著者の皆さまに感謝するほかありません。

今年は干支のうま年で、馬のように飛躍する年と期待されていますが、世の中はむしろカオスの状態に陥っていると感じているのはわたしだけではないでしょう。6月に入ると異常気象続きで、酷暑、豪雨、季節外れの台風が世界の各地で頻繁に発生しています。これは人間の生産活動によって引き起こされた結果だと科学界から指摘されています。そして、二酸化炭素の排出量を減らそうと各国が懸命に努力していますが、そのような因果関係を認めようとしない人たちもいます。わたしは「宁可信其有、不可信其無」という態度です。

巻頭の人物写真は、汪鳳藻（1851-1918）と卞之琳（1910-2000）です。汪鳳藻は、字芝房、云章、江蘇元和の人、同文館英文科の卒業生。1891年7月より駐日公使臨時代理、1892年7月駐日公使。著書、訳書に『英文學隅』（1879）『富国策』（1881）などがあります。民国期に同じく駐日公使を務めた汪榮宝（1922-1931在任）はその子息でした。一方、卞之琳は、江蘇省出身、詩人、文学評論家、翻訳家。新文化運動における詩歌「新月派」の代表的詩人として有名です。

次号は節目の第50号になります。予算の関係で、本号から完全にオンライン雑誌に移行させていただきます。紙媒体の冊子はオンデマンドで提供することも可能ですが、1冊3000円以上になる見込みです。第50号は2026年11月末を締め切りとさせていただきます。皆様のご寄稿を心待ちにしております。

第49号編集担当：沈国威（2026.6.30）

執筆者一覧

田野村忠温	（大阪大学）
柯 卉	（凱里学院）
王 耀	（中国社会科学院）
梁 從国	（中国文化和旅游部清史纂修与研究中心）
周 菁	（浙江工商大学）
蘇 浩	（浙江財経大学）
新井菜穂子	（天津外国語大学）
万 益君	（復旦大学）
毛 彩麗	（北京師範大学）
魯俏楚/張厚泉	（上海財経大学）
徐 広	（麻省大学 Amherst 分校）
劉加明/王彩芹	（山東大学・威海）
徐 克偉	（中国農業大学）
陳 曉淇	（北京外国語大学）

或問 第49号 2026年6月30日発行
WAKUMON No.49 （2026.6）

編集・発行：

近代東西言語文化接触研究会

代表者 内田慶市

E-mail:u_keiichi@mac.com

<http://keiuchid.sakura.ne.jp>

編集 沈 国威

E-mail:shkky@kansai-u.ac.jp

<https://www2.kansai-u.ac.jp/shkky/>

事務局：関西大学 児島惟謙館

2階 研究室

ダイヤルイン 06-6368-3268

564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

印刷 遊文舎